

2018 年度レフェリー塾のご案内

1. 目的： 関西協会および関西各府県協会所属の意欲ある審判員に対して、自主的な研修・研鑽の場を提供し、審判技術の向上、知識の充実、モチベーションの増強をはかる。
2. 参加資格： 関西協会および関西各府県協会 所属審判員 ならびに インストラクター
3. 日程： 2018年5月～2019年3月（8月を除く）、全10回
各月の第4木曜日 19:00～21:00
今後の日程 3/28

4. 会場： （大阪市内・毎回参加者にメール等で通知）

第8回 2/28 (木) の 会場

大阪市立西区民センター

大阪市西区北堀江 4-2-7

☎ 06-6531-1400

◆  千日前線「西長堀」駅 ⑦番出口 北へ100m

◆  鶴見緑地線「西長堀」駅 ③番出口 南へ100m



5. 参加料： 通年2,000円 ※ユース審判員は1,000円
（初回参加時に徴収させていただきます）
6. 講師： （一社）関西サッカー協会審判委員会育成部長 大歳 和法
ほか 1級審判員、各級インストラクター、各界有識者など
7. 追加申込： 途中からの参加も可能。（参加料は通年と同じ）
8. 申し込み方法： 以下の各項目を明記の上、担当大歳まで事前申し込みをして下さい。

①氏名 ②所属府県 ③審判資格（級） ④メールアドレス ⑤携帯電話番号

追加申込・その他 レフェリー塾に関するお問い合わせ 担当；大歳 ohtoshi@r3.dion.ne.jp

以上

第7回 1/24は こんなことをしました

【Jリーグ ジャッジリプレイ】を見ました。

ご存知ですか この番組。出演者の原 博実 氏が 技術の立場から、上川 徹 氏が審判の立場から、司会者の平畠 啓史 氏がファンの立場で(?) 実際のJリーグの映像を見ながら、ああでもないこうでもないとお喋りするという番組です。サッカー文化を醸成するうえでとても面白い試みだと思います。いつも審判の立場からの一方的な見方しかできない傾向にある私たちにとって、技術の方や、一般のファンの眼から見たサッカーへの思いを聞くことは新鮮でもあります。塾では、このように視野を広げる試みに加え、審判としてもより深いサッカーの理解につながるヒントを得ることに挑戦しました。例えば、番組では「これはノーファウルだね」という結論に至ったシーンから、この状況がもしどういう風に違っていれば「ファウル」なんだろう。その境目はどこにあるんだろう。その違いをどうすればきちんと見分けることができるんだろうと…。また、「守備側競技者がペナルティーエリアの外で攻撃側競技者を押さえ、そのままペナルティーエリア内でも押さえ続けた場合…」という競技規則の説明を上川さんがされたのですが、「この条文どこに書かれている?」「105 ページ」「ページじゃなくてえ、そこは何が書かれているところ?」「12条」「12条はどんな構成になってる?」「???」「1. 直接フリーキック 2. 間接フリーキック 3. 懲戒処置 4. ファウルや不正行為の後のプレーの再開。この条文はどこに書かれている?」「なんかしっくりこないと思わない?」「う～ん、どうしてだろう」みたいな新たな疑問も出てきました。(お)